

JOMF 海外巡回健康相談

◆ジャカルタ◆

子育て講演会に参加して

KAIKOUKAI CLINIC SENAYAN

小笠原広実

ジャカルタの日本人学校で9月17日に行われた子育て講演会に参加しました。

「自尊心・自尊感情の育て方」というテーマで、小児科医である広瀬宏之先生のお話でした。広瀬先生といえば、ジャカルタ新聞に子育て相談のコーナーが連載されており、私はその優しさとユーモアあふれるコメントの大ファンでしたので、今回やっと念願かなって講演会に参加できました。

親が、子どもの持って生まれた素質にそぐわない期待をかけて、できない子どもに怒ってしまうと、子どもの心にはずっと残って自尊感情が育たないというお話から始まりました。日々子育てのなかで、誰でも少なからず心当たりがあるような親の関わり方が、子どもの心に深刻な影響を及ぼすとあって、参加者は皆ハツとしたのではないかと思います。でも、広瀬先生自身が小学校3年生の女の子の父親であり、ご自身の関わりの失敗談も含めて伝えてくださったので、ああ、みんな同じなんだ、と少し安心することができたように思います。

私も21年前に、2人の子供の母親としてジャカルタ日本人学校にお世話になっていましたので、その時の不安も思い出しながら、聞かせていただきました。

先生からは印象的な言葉がいくつもあり、特に「ほめることや感謝することが大切」、何事も「ほどほどがいい」と言われた時には、お母様方の多くが一生懸命メモをとっておられました。親も成功体験を積み重ねることで自尊感情が高まっていくというお話もあり、子どもへの向き合い方だけではなく、お母様方一人一人の心の安定のためにも、役立つヒントをたくさんいただくことができました。

会場からは具体的に心配していることの質問もあり、またその後も列になって広瀬先生とお話をされている姿を見ながら、不安を抱えてジャカルタで子育てをしているお母様方が大勢いること、そしてこのような機会が皆さんにとってとても大切だと改めて感じました。

以前から、ジャカルタ日本人学校は、とても子育てや教育に熱心なお母さま方が多いと感じていました。とてもよいことではあるのですが、一生懸命に子どもに期待するあまり、子供にダメ出しをしてしまうことも多いのではないかと思います。また、お母様方自身が不慣れな環境で生活をしており、人間関係に不安を抱えているなど、心の余裕がない中で子どもと向き合っています。そのような中、今回このテーマでのお話は、とても有意義で、自分をやさしく見つめ直す時間になったのではないかと感じました。

編集部より：

9月号の「JOMF 海外巡回健康相談 インドネシア、ジャカルタ報告」で

<https://jomf.or.jp/pdf/2018/09/796/201809NLJakartareport.pdf>

実施の様子を事務局より報告しておりますが、現在「海外医療事情 インドネシア一看護師から見た日本との違い」連載中の小笠原広実氏に講演会の感想をいただきましたのでここにご紹介します。

(注：執筆者のタイトルについては、本記事配信時現在ビザ更新手続き中です。)